

エール いしかわの女性へ

題字は石川県知事、(公財)いしかわ女性基金会長 馳 浩

CONTENTS

- 防災・復興のための女性人材育成事業 開催報告1
- きらめく女性の地域活躍セミナー
女性チャレンジフォーラム 開催報告2
- (公財)いしかわ女性基金の事業報告3
- 共に創る未来フェスin石川 開催報告4
- 「いしかわ女性輝くダイバーシティ企業塾」を
開講しました!5
- 県女性センターのお知らせ
(公財)いしかわ女性基金令和7年度の主な事業
コラム6

防災・復興のための女性人材育成事業

誰一人取り残さない地域防災をめざして ～能登半島地震の教訓をもとに～ 開催報告

主催：(公財)いしかわ女性基金



講師
小山内 世喜子 氏

令和6年能登半島地震の発災後間もなくから被災者支援に携わる(一社)男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子さんをお迎えし、全2回(令和6年11月16日(土)・30日(土))の講座を開催しました。

第1回では、能登半島地震の被災者支援に携わる中で、小山内さんが見た現状と課題について、主に避難所運営を例に挙げ、被害の拡大防止のためには、身体的性差とジェンダー双方の観点から災害対応を考えていくことが必要であるとお話いただきました。

第2回では、地域社会で女性の防災リーダーが少ない理由とその解決策についてグループで話し合い、解決に向けて各自が行動に移すためのアクションプランを作成し発表しました。

今回の講座を通して、災害からの気づきを自分事と捉え、そこで感じたことを他者に共有することで協力し合える仲間づくりができること、そして、感じたことを自分の日常に反映させ、具体的に行動していくことが社会を変える一歩に繋がるということを考える機会となりました。

参加者の声

- ・実際に現場に行った講師の話だったので分かりやすく、現地の様子を詳細に知る事ができた。
- ・被災地での女性の問題点を知ることができ、防災士と知り合いになることもできた。
- ・女性センターでの開催だったが、男性も参加できたので、女性の視点を理解できたのは良かった。



研修の様子

きらめく女性の地域活躍セミナー 開催報告

主催：(公財)いしかわ女性基金

地域活動などで必要となるコミュニケーション力の向上を目的として、「『伝える力』のアップデート」をテーマに株式会社オフィスキュー代表取締役 澤 直美さんを講師にお迎えし、全3回(令和6年10月7日(月)、15日(火)、26日(土))のセミナーを開催しました。



第1回「話し上手になろう」では、相手の「聴きたい」気持ちに寄り添う伝え方の3ステップを学び、第2回「声をきたえよう」では、滑舌や間の取り方など、声の出し方についてトレーニングを行いました。そして、第3回「変化を共有しよう」では、これまで学んだことを活かして、一人ずつ演習を行い、セミナー開始時からの変化を各自で振り返るとともに、参加者同士でお互いの良かった点について共有しました。

限られた時間の中ではありましたが、「伝える」ポイントを体得し、人前で話すことへの自信がついたようでした。

参加者の声

- ・「伝え方」を実践的に教わることで生活にすぐ活かせそうです。
- ・たくさんのワークを通じて苦手な部分を改善できたので、自信につながった。

女性チャレンジフォーラム 開催報告

主催：(公財)いしかわ女性基金

令和7年3月1日(土)、様々な分野で活躍する女性の取組を紹介し、女性の社会参画への意識を高めるため、「女性チャレンジフォーラム」を開催しました。

前半は、金沢医科大学医学部総合内科学臨床教授 赤澤 純代さんをお招きし、「女性の元気は社会の元気!!～ライフコースアプローチと性差医療の必要性」と題して、講演いただきました。

講演に引き続き、いしかわ女性のチャレンジ賞受賞者によるチャレンジトーク「輝け わたし!」では、令和6年度の受賞者から2名1団体の方々に活動のきっかけやこれまでのあゆみ、今後の抱負などを発表していただきました。

参加者の声

- ・女性・男性それぞれが気を付けていくと良い点がわかりやすく理解できたので地域に持ち帰り伝えたい。
- ・健康で長生きするための日々の生活習慣について、改めて考え直す機会になりました。
- ・チャレンジトークで発表された皆さんの話はすべて興味深く、エネルギーでパワーをもらえました。
- ・やる気のある女性の話が聞けてよかった。他の方の話も聞きたい。



講演の様子



全体の様子



チャレンジトークで発表された皆さん

「企業に活かせる女性力」 講演会・取組発表会 開催報告

主催：(公財)いしかわ女性基金



講師
山本 真希氏

令和7年2月4日(火)、企業における女性の活躍推進のため、女性のキャリア形成支援を目的とした「『企業に活かせる女性力』講演会・取組発表会」をオンラインで開催しました。

前半は、株式会社 資生堂DE&I戦略推進部長 山本 真希さんに「女性活躍から生まれるより良い社会とは」と題し、女性活躍推進の背景や、資生堂が試行錯誤を繰り返し、今日の姿があることをご自身の経験も交えてお話いただきました。

すべての社員が生き生きと働き続ける職場づくりのために、社員ひとり一人のライフスタイルを考慮した仕組みが必要であること、また、従来の管理職モデルによらない多様なリーダー像をより多く輩出していくことが、働きやすい環境を整備していくことに繋がるなど、これからキャリアを築いていく方々の励みになる内容でした。

後半は、「『企業に活かせる女性力』企業で輝く女性人材育成プログラム(令和6年7月～11月に実施)」の総括として、受講生3名が研修を受講したきっかけ、研修での学び・気づき、研修前後の気持ちの変化や今後の抱負について発表しました。

ふらっとミニセミナー 開催報告

主催：(公財)いしかわ女性基金
各市町男女共同参画担当課

「女性人材バンク」登録者を講師として、4カ所で開催しました。

9/13(金)能美市	森田美恵子氏
11/ 2(土)内灘町	高橋 昌子氏
11/30(土)宝達志水町	二木あつ子氏
12/14(土)能登町	得永 昭子氏

詳細はいしかわ女性基金
<https://www.ishikawa-jyosei-kikin.or.jp/info/2024/10/post-14.html>



女性団体・グループとの 協働事業

主催：(公財)いしかわ女性基金
女性団体・グループ

当基金と協働して実施する事業提案を募集し、事業に要する経費を負担しています。

- 図書情報室で活動しているボランティア団体「満作の会」は図書情報室の運営の他、朗読会、DVD上映会を開催しました。
- IT講習室では、「電子レディース石川」が初心者のためのパソコン講座を開催しました。



左：DVD 上映会
右：朗読会
下：パソコン講座

国立女性教育会館開催講座 受講支援事業

主催：(公財)いしかわ女性基金

5年ぶりに「男女共同参画推進フォーラム」の対面講座が復活！2名の参加を支援しました。

=参加者の報告書から=

- ・社会で起こっている様々な問題の根源に、ジェンダーにかかわる原因があることに気づきました。
- ・社会情勢の変化の速さに、男女とも意識がついて行っていない。制度改革の前に意識改革のための活動を考えていきたい。

詳細は国立女性教育会館実績報告書
https://www.nwec.go.jp/event/training/g_forum2024.html



3/8は国際女性デー！

共に創る未来フェスin石川 開催報告

令和7年3月8日（土）金沢港クルーズターミナルにて、国連が定めた国際女性デーにあわせて、女性活躍の推進や男女共同参画社会の必要性を啓発し、さらなる女性活躍に向けた気運醸成を図るため、今年度新たに「共に創る未来フェスin石川」を開催しました。

◆スペシャルトーク

「人間力を無駄にしないために～男も女もしょせんは人間～」

ヤマザキマリさん（漫画家、文筆家、画家）

人気漫画「テルマエ・ロマエ」の作者などで知られるヤマザキマリさんをお招きし、ご講演いただきました。

講演では、ご自身のイタリアでの生活や世界で活躍する女性の生き方や働き方についてご紹介いただくとともに、「知性を強みとして身につけると男女にとらわれないで生きていける」など、ご自身の考えをユーモアを交えてお話しいただきました。



Photo_ノザワヒロミチ

参加者の声

- ・性別にとらわれず、たくましく生きる姿勢に元気をいただきました。
- ・とても聞きやすく、そして笑いもあり、大変楽しかったです！ご自身の家族や活躍された女性のお話も参考になりました。
- ・自分のキャリアや働き方について、改めて考え直す良い機会となりました。

◆知事メッセージ

国際女性デーにあたっての知事メッセージを県ホームページで公開しています。



◆ミモザの装飾

県内19市町と連携して、県や市町の施設を国際女性デーのシンボルであるミモザで装飾しました。



◆イエローライトアップ

3月8日～11日の4日間、金沢港をミモザ色でライトアップしました。

※金沢港のほか、金沢市と小松市にご協力いただき、金沢駅鼓門とこまつアズスクエアでもライトアップを実施しました。



「いしかわ女性輝くダイバーシティ企業塾」を開講しました!

主催：石川県

県では、令和6年10月から令和7年1月にかけて、県内企業の幹部や人事管理者等を対象に、女性が活躍する企業のノウハウを学ぶ全5回の連続講座「いしかわ女性輝くダイバーシティ企業塾」を開講し、23社が参加しました。

本塾は、浅野大介副知事を塾長とし、県内外の先進企業を講師に迎え、事例研究やグループ討議を通して取組のノウハウを学び、自社の課題に即したオリジナルのロードマップを作成するカリキュラムとなっております。

開講式で行われた塾長講義では、浅野副知事は、「女性活躍の本質は多様性。多様な個性や事情を持つすべての人がそれぞれの事情に合わせて活躍できる組織づくりが必要。」「同じような考えをもつ人しかいない組織は、多様な視点がないために、『見落とし』が生まれ、重要な意思決定を間違えるリスクが高まる。ビジネスチャンス逃す可能性もある。(同質性のリスク)。」「多様な人材が存在するだけでは多様性は実現できない。多様な人材が意見を言い続けられる環境を作る必要がある。」と話しました。

各回では、先進企業の事例研究を踏まえ、参加企業同士によるグループ討議が行われ、参加企業は自社の課題や取組等を話し合い、多様な人材が能力を発揮できる職場環境づくりがなぜ必要なのか、どのように取組を進めていけばいいのか等理解を深めました。

詳しくはこちら



LINE相談

「女性のための相談室@いしかわ」



日 時 毎週水曜日・土曜日・日曜日
18:00 ~ 21:00 (受付は 20:30 まで)

- 日頃のお悩み・不安など、ひとりで悩まないで相談を
- LINE アプリを使用します
まずは「友だち追加」から
- 秘密は守ります



相談窓口のご案内

秘密厳守／相談無料

～ひとりで悩まないで相談を～

専門の相談員がお話を伺い、
解決に向けた支援を行っています。
お気軽にご相談ください。

相談内容	窓 口	電話番号
DV	石川県配偶者暴力 相談支援センター	#8008
性暴力	パープルサポート いしかわ	#8891
女性の 様々なお悩み	石川県女性相談 支援センター	#8778

受付時間など
詳しくは石川県HPへ



石川県女性センター・(公財)いしかわ女性基金からのお知らせ

図書情報室からのお知らせ

～女性の視点から見る図書・DVD等を提供しています～

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/jyoseicenter/library/index.html>



新着Bookの一例

(ほかにも多数あります)

- おとこ川をんな川 唯川 恵 著 文藝春秋
- きれいに生きましょうね 草笛 光子 著 文藝春秋
- 婚活マエストロ 宮島 未奈 著 文藝春秋
- 祖母姫、ロンドンへ行く! 榎野 道流 著 小学館
- ツミデミック 一穂 ミチ 著 光文社
- 板上に咲く 原田 マハ 著 幻冬舎
- 菜箸でフレンチ 阿川佐和子/タサン志麻 著 マガジンハウス
- 別れを告げない ハン ガン 著 白水社

新着DVD

- 君たちはどう生きるか 2023年 124分
- コット、はじまりの夏 2022年 95分



<利用案内>

- ◆場 所 石川県女性センター1F
- ◆利用時間 月～土曜日10～15時
- ◆休 室 日・祝日・旧盆(8/13～8/15) 年末年始(12/29～1/3)
- ・どなたでもご利用できます。(男女問いません)
- ・貸出資格は県内在住・在勤・在学の方に限ります。
- ・貸出は1人3冊、3週間以内(DVD等含む) 雑誌1週間以内(最新号除く)
- ・利用時間外の返却は、月～金17時まで県女性センター事務室へ、17時以降21時まででは警備員室、総合案内所までお願いします。

(公財)いしかわ女性基金 令和7年度の主な事業について

- ふらっとミニセミナー
- いしかわ女性のチャレンジ賞表彰式
- 国立女性教育会館開催講座受講支援事業
- 企業で輝く女性人材育成プログラム
- きらめく女性の地域活躍セミナー
- 防災・復興のための女性人材育成事業
- 女性センターフェスティバル 2025
- 女性チャレンジフォーラム
- 女性団体・グループとの協働事業
- 研修会等開催支援

随時当基金の
ホームページにて、
情報を更新します。



コラム

女性特有の健康課題とは

「女性特有の健康課題」という言葉をここ数年、よく聞くようになりました。

年齢によるホルモンバランスの変化とともに生じるもので、代表的なものとしては生理痛や生理前のイライラ・むくみ等の月経関連症状、ホットフラッシュ等の更年期症状があります。

令和6年2月の経済産業省の試算によると、「女性特有の健康課題」による経済損失は、社会全体で年間約3.4兆円になるとか。(※表1)

女性の就業率が上昇する中、女性特有の健康課題への対応はとても重要なものとなっています。

また、近年、こうした健康課題を解消する方策の一つとして注目されるのが、「フェムテック」と「フェムケア」です。

「フェムテック」:

「Female(女性)」+「Technology(技術)」を合わせた造語。生理や更年期など女性特有の悩みを先進的な技術で解決することを目指す。

「フェムケア」:

特定の技術によらず、様々な方法で女性特有の健康課題をケアする製品・サービスの総称

体調で困っていることがあれば、我慢せず、自分に合ったこうしたサービスや製品を活用してみても如何でしょうか。

表1 女性特有の健康課題による社会全体の経済損失
(試算結果) (単位: 円)

	女性特有			男女双方 (※2)	合 計
	月 経 随 伴 症	更 年 期 症 状	婦 人 科 が ん (※1)	不妊治療	
経 済 損 失 計 (年間)	約0.6兆	1.9兆	0.6兆	0.3兆	3.4兆

出典: 経済産業省 令和6年2月「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」より

※1 乳がん、子宮がん、卵巣がん

※2 妊娠(不妊)/出産は女性のための課題ではなく男女双方に関係するものだが女性に負担がかりやすい課題として女性側の就労への影響を算出

問い合わせ・各事業への参加申し込みは

石川県女性センター・(公財)いしかわ女性基金

〒920-0861

金沢市三社町1番44号(石川県女性センター内)

TEL 076-234-1112 FAX 076-234-1130

<https://www.ishikawa-jyosei-kikin.or.jp/>

●編集/発行 石川県・(公財)いしかわ女性基金



駐車場は、向かいの「第1駐車場」も合わせて3ヶ所あります。

令和7年3月